

東沢・ほら貝のゴルジュ

メンバー:河崎(L)、薄田、三井(記)

遡行日:12年7月28日

※これは記録というよりその時のま
ー、雑感です。

「ほら貝のゴルジュ」は30年ほど前、当時は結構、シビアで困難なルート、といわれていて、僕もかなり気張って行った記憶がありますが、現在はゴルジュ突破のグレンデというか、水遊び気分で行くパーティーも多いらしい。さて30年ぶり、どんな感じか。

鶏冠谷の手前から入渓して暫く行くと10mほどのトコ。

それ程水勢が強い訳ではなく、泳ぎだしたが思うように進まず焦る。漸く三分の二ほど行くと足が立って通過。泳力の低下に愕然。でも考えてみると、最近では低体温症を恐れて泳ぐところも極力巻きにしてしまうし、プールでレーニングする事もなくなったしね。

さて、「ほら貝のゴルジュ」に到着。

核心の4mの滝。左岸の壁に落ち口に向って水平にリスが走っていて、ハーケンが連打されているのでそれにアプミをかけてトラバースするんだけど、この間ユーチューブを見たら、某会でその残置ハーケン全部にアプミをブラ下げて(10本くらい)登っている画像があったけど、いくらお遊びといってもそれもねえ。

反対にフリーソロで登る人もいる。(やはりユーチューブにその画像がありま

すが)

聞くとところによるとグレードは5.9くらいとか。となると僕でも行けるか、という気になるね。一遍挑戦してみてもいいか。落ちて釜にドボンするだけだしね。

今回薄田君はアプミ初挑戦で、途中ハーケンが抜けてぶら下がったけどがんばってクリアした。これも経験。

その先が細くくねった水路みたいなゴルジュ。

兩岸はつるつとした岩でそこを河崎君は素早く走り抜ける。僕は滑ってダメ。

河崎君の履物はアクアステルス。

僕は会でも殆ど履いている会員はいない溪流タビ。河崎君いわく、吸い付くようにフリクションが効くそう。

アクアステルスが登場した時、その評価は決して高くなかったと思う。

会でも使用した会員も数人いたけど余りいいことは言ってなかった。又メッタところは全くダメらしい。

でも今はネットの書き込みをみても結構評価が高くなっている。何か不思議な感じはするね。

僕は一度も履いた事はないので良くわからないが、本当のところはどうなんだろう…。

又メッタところはやはりワラジがいい訳で、となると常に溪流タビと、アクアステルスの沢靴と、ワラジを持参して沢の状況の応じて履き替える、ってか。ゴルジュを抜けたところで登山道に上がって帰る。

30年ぶりの「ほら貝のゴルジュ」楽しかったです。アプミトラバースルート、フリーソロやってみたいね。